

社会価値創造プロセス

お客さまや社会にとって価値のあるイノベーションを生み出すためには、お客さまや社会の本質的な課題を理解し、信頼関係を築くことが重要です。

NECは、お客さまをはじめとするさまざまなステークホルダーのみなさまとの対話や共創をととして、「安全」「安心」「効率」「公平」という4つの社会価値を創り出していきます。

執行役員 ビジネスイノベーション統括ユニット担当 藤川 修



さまざまなステークホルダーのみなさまとの対話・共創

国際社会の一員として社会課題解決を目指す

2014年に西アフリカでエボラ出血熱が発生した際に顕在化した、物資の需要供給情報の不足、不十分な官民連携に起因する支援の重複や非効率性などの課題を教訓に、緊急時にさまざまな組織が連携して対応できるよう、2015年の世界経済フォーラム（ダボス会議）で、「地球規模感染症対策サプライチェーンネットワーク（Global Pandemic Supply Chain Network、略称PSCネットワーク）」が立ち上がりました。

2016年10月のPSCネットワークの会合はNECがホストとなり、本社で開催しました。世界食糧計画（WFP）をはじめとする国連関係機関、日米政府関係者、大学、民間企業、NPOなどのメンバーが集まり、2日間にわたって、課題解決に向けた対策の進捗確認、感染症発生時のシミュレーション計画、食糧・医薬品等の備蓄計画などを話し合いました。

このような討議を経て、日本政府はPSCネットワークの発展に向けて100万米ドルを拠出し、これを受けて、NECは国連WFPとともに、物流情報管理プラットフォームの開発に着手することを発表しました。



（左）国連WFP事務局長 アーサリン・カズン氏（当時）
（右）代表取締役 会長 遠藤 信博

株主・投資家との対話を企業価値向上につなげる

当社は、執行役員社長やCFO、経営企画本部IR室を中心に、株主との面談や四半期ごとの決算説明会、事業説明会などのIR活動に注力しています。同時に、対話から得られた知見を経営陣へ積極的に展開するとともに、取締役会でも定期的に報告しています。当年度は、環境分野に特化した、機関投資家とのIRミーティングを初めて開催しました。

（詳しくは、p.53「『Sustainable Earth』の実現に貢献する環境経営のさらなる推進」をご覧ください。）



環境IRミーティング

取引先とともに責任ある企業活動を実践する

NECでは、社会的責任の国際ガイドンス規格ISO26000を考慮した「NECグループ調達基本方針」を策定し、取引先とともに、調達における6つの重点リスク（人権、労働・安全衛生、公正取引、環境、情報セキュリティ、品質・安全性）に対応しています。人権や労働安全衛生については実地診断「CSR-PMR*」で、取引先との共創を進めるとともに、2011年より継続して実施している民間の非営利組織「CSRレビューフォーラム」との対話を、CSR調達の理解深耕やPDCAサイクルの改善に活かしています。

*PMR：Process Management Review



工場での診断

事業活動が及ぼす経済・社会・環境への影響をSDGs視点で考える

お客さまや社会の本質的な課題は、どのような社会課題が存在しているのか、その課題をどのように解決したいのかを考える中で、浮き彫りになってきます。社会課題を知り、その課題にどのように取り組めるかを考えるきっかけとして、従業員向けに、NPO法人「経済人コー円卓会議日本委員会（CRT Japan）」でCSRアドバイザーを務める松崎稔氏をコーディネーターに迎え、「SDGsワークショップ」を開催しました。

ワークショップの参加者は、ビジネスを進めていくうえで、バリューチェーンごとにプラスとマイナスの両面の影響を考えることの大切さと難しさを仮想体験しました。「自分の仕事が社会にどのような価値を与えられるのか、持続可能な社会のためにどのような貢献ができるのかをイメージすることで、これからの仕事に取り組む意味を見つめ直すことができた」といった気づきもありました。



SDGsワークショップ

Orchestrating a brighter world

お客さまとの共創による社会価値



社会価値を創造するプロセスは、次の3段階で進めています。

- ① お客さまや社会の本質的な課題への「気づき」
- ② オープンイノベーションなどの価値創造への「仲間づくり」
- ③ AIやIoTなどの先進のICTを活用した「価値づくり」

またこの一連のプロセスでは、社会・文化・産業などの視点から、お客さまや社会にとっての価値を創り出すための設計手法である「ソーシャルバリューデザイン®」を活用しています。

新たな社会価値を創造するためには、人のライフスタイルや行動様式というミクロの視点と、都市や国家、地球規模でのマクロな視点の双方から社会や未来のあるべき姿を描く必要があります。

この社会価値創造プロセスは、さまざまなステークホルダーのみなさまとの対話や共創に活かされています。

ソーシャルバリューデザイン®

ソーシャルバリューデザインは、お客さまとの共創を通じて価値創造するためのNECオリジナルの手法です。人の体験価値の向上を考える「ユーザーエクスペリエンス」と、社会のあるべき姿を考える「ソーシャルエクスペリエンス」の2つの視点からお客さまのビジネスや未来の社会に「イノベーション」を創出します。

